

(やさしい日本語)

応急危険度判定

家(いえ)や ビル(びる)が どのぐらい 危(あぶ)ないか 調(しら)べて 紙(かみ)を はります — 応急危険度判定(おうきゅう きげんど はんてい)

地震(じしん)が とても たいへんだった ところでは、家(いえ)や ビル(びる)などを調(しら)べて 紙(かみ)を はります。その 家(いえ)や ビル(びる)などが どのぐらい 危(あぶ)ないか 調(しら)べます。

余震(よしん)〈後(あと)で来る地震(じしん)〉で もっと 壊(こわ)れるかもしれない 家(いえ)や ビル(びる)に みんなが 気(き)をつけることができますようにします。

調(しら)べたら、赤(あか)か 黄色(きいろ)か 緑(みどり)の 紙(かみ)を 家(いえ)やビル(びる)に はります。

応急危険度判定(おうきゅう きげんど はんてい)です。

●紙(かみ)の 色(いろ)の 意味(いみ)

○赤(あか)---「危険(きげん)」:危(あぶ)ないから 入(はい)らないでください。

○黄色(きいろ)---「要注意(ようちゅうい)」:入(はい)る ときは、気(き)をつけてください。○緑(みどり)---「検査済(けんさずみ)」:入(はい)ってもいいです。だいじょうぶです。

もっと 詳(くわ)しく 知(し)りたい ときは 地震(じしん)の 前(まえ)から 住(す)んでいた 市(し)や 町(まち)の 役所(やくしょ)の 係(かかり)の 人(ひと)に きいてください。

※【り災証明書】(りさいしょうめいしょ)のために 家(いえ)や ビル(びる)を 調(しら)べると 応急危険度判定(おうきゅう きげんど はんてい)の ために 調(しら)べるとは 違(ちが)います。

応急危険度判定(おうきゅう きげんど はんてい)は 【り災証明書】(りさいしょうめいしょ)の 代(か)わりではありません。

【り災証明書】(りさいしょうめいしょ)と応急危険度判定(おうきゅう きげんど はんてい)は 違(ちが)います。